

一般飲食店におけるその他の装置、設備を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	21~22	ヘルプに入り、店内ホールの木製のお客様用テーブルを拭いている時に、テーブルにささくれが出来ており、そのささくれが右手薬指に刺さり入り込んでしまい腫れた。	31	—
1	19~20	調理場内を移動中、転びそうになりバランスを崩してとっさに調理台の足元を掴んだ。掴んだ場所に突起があり、指を負傷した。	63	1~9
2	6~7	調理場で煮物の下準備中、大鍋を移動させようと持ち上げて歩いたところ、つまずき、熱湯をかぶってしまった。	41	10~29
2	22~23	店舗厨房内の店作業時に、フライヤー用油の一斗缶の切り口が上に開いていたので閉じようと下へ押したところ油で滑り右手中指が管の中に入って切ってしまった。慌てて指を引き抜こうとした際に切り口に爪が引っ掛かり爪全体の1/3程はがれてしまい負傷した。	21	—
2	2~3	店の厨房にて、閉店の閉めの作業中高所の棚に置いてある調味料を取ろうとした時に、清掃の為に通路の床に取り出して置いてあったフライヤーの熱い油が入った油受けに誤って左足が引っ掛かり転倒し、ひっくり返った油請の油がかかってしまい、広範囲に火傷を負ってしまった。	24	—
2	21~22	本店厨房内にて、閉店時の掃除作業中にまな板（幅89cm、長さ22cm、厚み3cm）を洗って調理台の上に置いていたところ、調理台が濡れていたため、まな板が滑り落ちて左足親指に直撃し骨折した。	34	50~99
		被災者（以下、甲という）が、レストランホールにて、レジ機器の操作をしていた		1~

2	16~17	ところ、レジ機器を載せた棚板が不安定だったため外れ、落下したレジ機器が甲の右膝に当たり負傷した。	24	9
2	20~21	キッチンで、フライヤーを、清掃しようと、近くにあったステンレスのカゴを、片付けた際、手が滑り熱い油の中に落としてしまった。はねた油が、右手肘から、手のひらにかけてかかり、火傷を負った。	20	~ 29
2	15~16	店内厨房にあるグリル（肉焼成専用機器）前にて、ハンバーガー用牛肉をグリルから保管用トレイへ移す際、グリル上部の鉄板（218℃）に左手甲部分が触れ、1度の火傷をした。翌月職場復帰の見込みである。	20	~ 49
2	10~11	当日予約のイベントのセッティング中、テーブルを動かす際に3人が作業中、テーブル面と脚部分が独立している一枚板の板の方を両手で持ち上げ待機しているところに、脚部分を動かす人が、勢い余って被災者の右足首部分に、テーブルの脚を倒してしまい、その重さと大きさとで負傷した。	46	1~ 9
3	22~23	当事業所において、天井扇を清掃するため、テーブル（高さ75cm）の上に立ち、雑巾を使って清掃をし始めた際、誤ってバランスを崩し、床上へ転落し負傷した。	36	1~ 9
3	13~14	店内のキッチンにて食器の仕分け作業をしていた際にガラスが割れてしまい、破片で左前腕を切傷した。	17	30 ~ 49
3	13~14	店内キッチンにてグリルを清掃中、スケッパーで汚れを落としていたところ、熱い油がはね、左手示指、中指を火傷した。	60	30 ~ 49
3	13~14	職場の調理室で食材を取ろうと冷蔵庫の取手に手を掛けた際、冷蔵庫の取っ手がすべりやすい状態だったため、手首まですべり込んでしまい、手首をひねった。	37	30 ~ 49
3	9~10	開店作業の為に冷蔵庫から麺出しをする際、ステンレス棚のL型が破損しており、誤って左手が触れ、小指と薬指の間を切った。	52	1~ 9
3	8~9	朝のそば注文のピークが終わったあと、右手に痛みがあり、右手を見ると大きな水疱ができていた。	52	1~ 9

3	23~24	ヘルプ先である店バックにて、カレーウォーマー清掃のためお湯抜きをしながら別の作業を行っていたところ、誤ってそこに左足を当ててしまい、左足踵部分に熱湯が掛かり火傷を負った。	45	10 ~ 29
4	11~ 12	勤務開始前、トイレに入った際に扉に手を挟んだ。ヘルプで不慣れな店舗と言う事もあり、トイレ扉が思った以上に速いスピードで勢いよく閉まってきたため、手を挟んでしまった。	56	10 ~ 29
4	18~ 19	店内調理場にて、揚げ物をしている最中に、通常コンロが左側にあるため揚げ物を入れるバスケットの取っ手は手前に向けておくべきところを、不注意でコンロ側にむけていた為、コンロの熱で高温になっていたのに気付かず握ってしまい、右手のひらを火傷した。	20	50 ~ 99
4	3~4	ウォークイン冷蔵庫内にて作業中、足を滑らせ転倒し、右手で体を支えた拍子に親指を床に強打し、打撲を負う。	40	10 ~ 29
4	20~ 21	厨房内にて閉店作業中スープの寸胴を清掃する為、排水溝にお湯を流そうとしたところ水量が多くはね返ってきたお湯が左足首にかかり火傷した。	42	10 ~ 29
4	10~ 11	厨房で、カツオブシを入れて出汁をとっていた寸胴鍋を傾けて中のカツオブシを網でこしていたとき、誤って出汁が右足にかかり火傷を負った。	31	10 ~ 29
5	10~ 11	キッチン内で清掃中、グリドルから降りた際に着地に失敗し、右膝の前十字靭帯の断裂および半月板損傷を負った。	47	10 ~ 29
5	23~ 24	洗い場にてジョッキを洗っている時に、伏せてあったジョッキが落ちてきて、シンクに当たり割れ、割れたジョッキの破片が飛んで小指を切った。	27	100 ~ 299
5	12~ 13	厨房にて、スープジャーの中に入っていたお湯の量を減らそうとジャーを持ち上げた際に、自分の体の方へ傾けた状態で引くように持ち上げた為、中のお湯が右足に	21	10 ~

		かかりコックシューズの中に入り込み、右足裏に熱傷を負う。		29
5	14～ 15	そばを作っている時向かい側のつゆが少なくなり、つゆの寸胴がゆで釜に浮いていて、そこにつゆを足した時に寸胴が沈み、その反動でゆで釜の熱湯が溢れ、左足のふくらはぎに熱湯がかかり火傷をした。	50	～ 29
5	19～ 20	調理機器の油の交換及び清掃作業中に機器内に溜められたお湯が加熱され誤って蓋をしてしまった。沸騰している状況で機器の蓋を開けてしまった者のそばで、別の清掃作業中の本人に噴き出した熱湯が体にかかり火傷をした。	16	～ 29
5	19～ 20	調理機器の油の交換及び清掃作業中に、機器内に溜められたお湯が加熱され、誤って蓋をしてしまった。沸騰している状況で機器の蓋を開けてしまい、噴き出した熱湯が両足にかかり火傷をした。	17	～ 29
5	19～ 20	調理場でディスプレイを見ながらの作業中、足元の引き出しが開いていることに気付かず躓き、鉄板の上に右手を置いてしまい、右手のひら全体を火傷し水ぶくれになった。	20	～ 29
6	22～ 23	当店厨房内にてフライヤーの油の交換作業中、フライヤーに近づいた際、フライヤー台の脚部分に自身の足が当たり、その衝撃で油が跳ね両足にかかり、甲部分を火傷したものである。	19	～ 49
6	15～ 16	店舗内の高い位置にある元栓を開けようとイスに乗ったところ、その際にバランスを崩してレンジフードに手をついて、中指を切ってしまった。	33	～ 49
6	9～ 10	出汁釜の火を点けようとしたところ、ガスが漏れていた為、勢いよく火がボンと点いたので、右手甲・中指・人差し指を火傷した。	22	～ 49
6	16～ 17	店舗に設置してある換気扇のフードを清掃していた際、ステンレスフードの端で右手中指第一関節外側をこすった時に切創した。	44	1～ 9
6	16～ 17	店舗厨房にて、ゴミ捨て作業中に、ごみ受けの端がめくれていたため、ごみ受けの端で左手人差し指を切ってしまった。	29	～ 99

6	22~ 23	構内側喫煙室のエアコンフィルターを取り付ける際、テーブルに乗ったところ、 テーブルが倒れ床に落ち、左足首を捻挫した。	21	1~ 9
7	23~24	事業所の駅前店洗い場通路にて洗浄し終わったビールジョッキを冷蔵庫に片付ける 際、ビールジョッキを両手に10個持った状態で転倒してしまい、割れた破片で右 手首などを負傷したものである。	21	30 ~ 49
7	21~22	店舗内客席テーブルにおいてお好み焼きを焼いている際に、テーブルが動いた拍子 に体勢を崩し、とっさに右手を鉄板の上についてしまい受傷したものである。	20	30 ~ 49
7	23~24	配達のため、上り坂途中にバイクを停車させようとまたがったまま車体を左側に傾 けたところ、積載している郵便物の重量により転倒しそうになり、左足で踏ん張っ た際に左足を負傷した。	22	30 ~ 49
7	8~9	当事業所店舗に於いて、調理場裏の業務用製氷機のストッカーのスライド扉を開 き、取出口から氷を取り出そうとしたが、夜のうちにストッカーに氷が貯まり、氷 が詰まった状態で氷が取り出し難くなっていたため、右手にしゃもじを持ち腕に力 を入れしゃもじで下の方から詰まった状態を解していた時、誤って取り出し口上部 の縁に腕を強打し負傷した。	26	50 ~ 99
7	11~12	店内カウンターエリア内で、アイスコーヒーの抽出作業中、コーヒー豆を入れる ホッパーの設置が完全でなく、お湯の溜まったホッパーが落下しそうになり、咄嗟 に左手で5秒ほど支えた際に受傷した。	17	50 ~ 99
7	11~12	小学校の厨房内でスチームコンベクションの操作方法を勉強している際に室内が高 温だったこともあり意識が飛び倒れ込んでしまった。その際立って聞いていたの で左足を捻ってしまった。	22	10 ~ 29
7	11~12	キッチンで朝のモーニングが終わり、新しく湯煎の鍋のお湯をかえる際ふりむいた 時に体と体が当たって鍋の熱湯が腕にこぼれた。	48	30 ~ 49
7	11~12	店舗内に入ったところ、既に勤務していた2人が意識不明で倒れており、同僚と一 緒に介抱・電話対応等をしていたところ自身も気分が悪くなり、一酸化炭素中毒の	30	10 ~

		症状が出た。		29
7	11~12	店舗内で開店準備作業をしている際に一酸化炭素中毒により、意識を失って倒れた。厨房のガスバーナーが不完全燃焼を起こしたと思われる。	40	10 ～ 29
7	11~12	店舗内に入ったところ、既に勤務をしていた2人が意識不明で倒れていることに気づき、介抱・電話対応等をしていたところ、自身も気分が悪くなり一酸化炭素中毒の症状が出た。	45	10 ～ 29
7	11~12	店舗内で開店準備をしている際に一酸化炭素中毒により、意識を失って倒れた。厨房のガスバーナーが不完全燃焼を起こしたと思われる。	57	10 ～ 29
7	11~12	店厨房内において、専用グリルによりパティを焼く作業に従事していた。パティを焼いた後、専用器具を用いてグリル表面を掃除していたところ、手が滑り、右手握りこぶしの状態でグリル表面につき、右手中指（手の甲側）を火傷した。	19	30 ～ 49
7	8~9	厨房内のうどん場から天ぷら場に移動する途中、天ぷら場のシンク前の床が濡れていたため、左足を滑らせた。バランスをとろうとしたが右足も滑り、慌ててシンクにつかまろうとした際、左手をシンクにぶつけて骨折した。	31	30 ～ 49
7	10~11	配送業務で店内倉庫の冷凍庫に冷凍品を収納作業中、4面冷凍庫の上段の扉が閉まりかけており、冷凍品を持って振り向いて収納しようとした時に、気づかずに勢い良く右腕をぶつけてしまった。	40	30 ～ 49
7	17~18	駐車場で店舗ツール掲出作業中、のぼりを設置するコンクリートポールスタンド（サイズH420×W250×D250mm）重量30kgを移動中に腰を痛めた。	32	10 ～ 29
7	14~15	店内キッチンにて、フライヤーの廃油を出した際に、誤ってバルブを閉めずに水を流してしまい、熱い油が爆発して飛んで、左額・左首・左腕を火傷した。	18	30 ～ 49
	14~	業務内容の洗い物、配膳等により、左手親指の関節の炎症と弾発指を発症した。飲食店で働くのが初めてであり、2年程して両手の平に痛みが出はじめ、左手親指		1~

7	15	の関節が腫れて触れられない程の痛みがあり、病院で弾発指と診断されたものである。仕事以外では手を必要以上に使う事がなく、迅速に大量の洗い物を洗い、また、重い配膳の為と考えられる。	50	9
7	18～ 19	厨房にてお子様カレーを調理時、加熱したカレーを盛り付ける際に、手が濡れていたため手が滑り、右手にカレーがかかり、右手人差し指・中指・薬指と右掌に火傷を負った。	18	～ 29
7	10～ 11	調理場にて、フライヤーの掃除を行っていた際、油を抜くためにフライヤーの下部にあるコックを目視せず、手探りで捻ろうとしたため、フライヤーのコック付近の鋭利な金具に気付かず、指先が当たり、深く裂傷した。	62	～ 49
7	3～4	キッチンで作業中に、フライヤーの底網についた食材を取ろうとして、誤って右手人差し指を油の中に入れてしまい火傷をした。	28	～ 49
7	23～ 24	グリドルクリーナーで餃子グリルを清掃中、クリーナーを拭き取る際にその油が右手の甲・中指・薬指にかかり、火傷を負った。	29	～ 29
7	14～ 15	うどんだし用のお湯を補充しようとしたとき、スープジャーに入っていたレードル（お玉）に寸胴（お湯が入っている）が当たり、バランスを崩し、お湯が足にかかり火傷を負った。	25	～ 29
7	16～ 17	トイレの縁に立ち、トイレの上にある棚に置いてあるトイレトペーパーを整理・補充していたときに、左足を滑らせ、左側に転倒し、左足首を負傷した。	44	～ 29
9	21～ 22	店舗裏において、ゴミを捨てる作業をしていた。ゴミ箱に入っているゴミを圧縮しようと、片足をゴミ箱に入れてゴミを踏んでいたところ、バランスを崩し倒れ、右肘を地面にぶつけ負傷したものである。	17	～ 49
9	12～ 13	店のカウンターにて、業務用コーヒーメーカーでブレンドコーヒーを抽出中であつた事に気付かず、ブレンド粉を入れる器具を外した際右手甲～手首にかけて熱湯がかかり、熱傷を負う。後日、抽出中はパウチをコーヒーメーカーに貼り、抽出中	21	～ 29

		と分かるよう対策した。		
9	9～ 10	店内フロアにて、ドリンクバーの組み立て作業中、取り付けの際に拇指に力を入れたところ、痛み・腫れが出た。右手拇指の脱臼と診断された。	45	30 ～ 49
9	17～ 18	厨房内の電子レンジにて、温めたご飯を電子レンジから取り出そうとした時、ターンテーブルが割れており落下してきた為、受け止めようとした際、左手中指と薬指の間を割れたターンテーブルで切傷した。	17	30 ～ 49
9	21～ 22	事業所のパントリー内で閉店作業中にお客様より呼び出しベルがなり、ふり向き様に後方の真空調理機の台にしているビールケースに足の小指がひっかかって倒れた、すぐに腫れたのでシップを貼って対応したが、翌朝病院に行くと骨折していた。	49	10 ～ 29
9	10～ 11	被災者は直径約20cmの円筒状の出汁ポットに入っている煮詰まった出汁をシンクに捨てようとしていた、被災者がポットを傾けていたところ手が滑りポットが落下、その際にこぼれた出汁（温度約80℃）が右手、右足、腹部にかかり負傷した。	63	10 ～ 29
10	20～ 21	店内キッチンにて、フライヤーの揚げカスを取っていたときに、誤って手を滑らせ170度のフライ油の中に手を突っ込んでしまい、左手に火傷を負った。	38	30 ～ 49
10	11～ 12	被災者は、店内のレジカウンター内にてレジ下右側に立てかけておいた紙用の裁断機が倒れてきて右足首を強打し負傷する。	48	10 ～ 29
10	16～ 17	店舗内キッチンにて、作業台上がりダクト（換気扇）を清掃していたところ、足元が滑り、誤って稼働中のフライヤー（揚げ場）に左足先が入ってしまい、負傷した。	41	30 ～ 49
10	10～ 11	刺身小鉢に若布の盛り付け作業中、コンロで味噌汁を作った他のスタッフが鍋の中身を保温器に移そうと鍋を持って移動した際、シンクで作業していた被害者の背中に腕がぶつかり鍋の中の味噌汁がこぼれた。その味噌汁が被害者の背中から足にかけてかかってしまった。	67	1～ 9

10	11～ 12	開店準備中に配膳台に手をぶつけた。その後、薬味の盛付のため袋に入ったおろしニンニクを器に絞り出していた際に右手首から人差し指に激痛が走り指が動かなくなった。	52	99
10	20～ 21	店内キッチンにて、煮込みうどんの調理中、電磁調理器上で加熱され熱くなっていた鍋に触ってしまい、右手中指・環指付近に火傷を負った。	16	49
10	12～ 13	韓国料理店にてランチ業務時間中、お客様に提供するドリンクを作っている過程で、冷蔵庫のガラスドアを閉めようとしたとき、プラスチックでできた縁部分がゆがみ、縁とガラスの間に指が挟まり、左中指（爪から第一関節部分）の肉を削いだような状態に負傷した。	32	29
10	13～ 14	店舗内調理場において、洗い場作業中に従業員から裏に物を取りに行くよう指示をされ振りかえり際に足元にあった漂白用水槽に躓き転倒。左膝を床に強打して膝蓋骨を骨折した。	61	49
10	11～ 12	野菜を揚げていて油が跳ね、左頬周辺に油が飛んで火傷した。	55	29
10	8～9	店舗カウンター前厨房内にて、トースターリリースシート清掃作業後、取り付けるカバーを取り付けに行こうとしたところ、カバーを持ったまま滑り、トースターカバーの角で右手親指付け根を切って受傷した。	61	99
10	21～ 22	客席ホール内で、食べ終わったお膳を洗い場に持っていく途中、バランスを崩し、食器を落とした。その際に食器を落とすまいと両膝でお皿を挟んだが、そのお皿が割れており、左膝を負傷した。	20	49
10	0～1	店舗の厨房内でガスボンベのガス抜きとガスコンロの掃除と着火テストをしている時に、引火しガスが爆発して顔全体に火傷をおった。	30	9
10	20～	フライヤーで揚げ物を調理中、揚がった揚げ物をボウルに移した際、手を滑らせ誤ってボウルをフライヤーの中に落としてしまった。その時、油が大きく跳ね、顔を守るために反射的に右手を出し、油が右手の第2.3.4指にかかり火傷したもの	35	10

	21	です。（通常であれば、フライヤー横で揚がった食材を移すべきところ、急いでいたため、フライヤー上空で移す作業をしてしまったものである。）勤務終了後も冷やし続けたが、腫れがひどくなり、痛みも引かなかった。		29
11	10～ 11	当店厨房内にてはまぐりの汁を火にかけていたところ、火にかけたまま他の作業に気を取られていたため、鍋掴みに引火し、左手指（親指以外）を火傷したものである。	46	30 ～ 49
11	15～ 16	勤務先の飲食店で、フライヤーの網をフライヤーの中に落としてしまい、油が右腕全体に跳ね上がり火傷した。	29	50 ～ 99
11	12～ 13	勤務中に注文が少し多く入り慌ててしまい、普段より少し多く油を入れたフライパンで目玉焼きを作る際に温めたフライパンの取っ手を握ったところ、予想以上に熱かったことに驚きフライパンの油を手に被ってしまった。	24	1～ 9
11	19～ 20	店の厨房で油の入ったフライパンをコンロにかけていた状態で、後ろ向きになりしゃがんで冷蔵庫から物を取り出していた。振り返って、コンロにかけていたフライパンを服で引っ掛けて熱した油を身体に掛けてしまい火傷をした。氷で冷やしたが、全く治らないので病院へ行った。	24	10 ～ 29
11	11～ 12	店内を巡回する為、店内と百貨店の間の境界線にて、引いてあるロールカーテンがひどく曲がっていた為、手で直そうとした際、金具が下がって来て左手薬指を挟み受傷した。当日は勤務を切り上げて病院へ行った。	36	30 ～ 49
12	17～18	店内厨房の洗い場前で、食材を取りに行こうとしたところ、社員が熱いままのスープが入っている鍋を運んでいる場に居合わせ、その社員が足元を崩し鍋の中身がひっくり返り、こぼれたスープがそのまま被災者の足元にかかり火傷を負った。	21	30 ～ 49
12	20～21	事業所内厨房にて、揚げ物をしていた際、足が滑り、手をつこうとしたところ、右手がフライヤーの中に入り、右手の甲と肘から先の内側に火傷を負った。	40	1～ 9
12	21～22	厨房内のキッチンコンロの前で、手を伸ばしたはずみで金属製の仕切り板に右手をぶつけ、右手の薬指と小指の間の付け根を裂傷した。	30	30 ～ 49

12	18~19	ポテトバットをIHの上に置くとき、加熱スイッチをOFFにしたつもりだったがONになっており、再加熱されたポテトバットを右手で掴み火傷を負った。後日、患部の水膨れが潰れ、膿んでしまったので受診した。	20	10 ~ 29
12	19~20	店内のキッチンで油の入った鍋をコンロで加熱しているとき、コンロに服が引っ掛かり、鍋が手前に揺れ、油が腕にかかり負傷した。	27	1~ 9
12	14~15	厨房にて、調理器具を洗浄中に、誤って茹で麺器に右手を突っ込み、右手人差し指と中指に火傷を負った。	18	10 ~ 29
12	16~17	キッチンにおいて、コンベクションオーブンにて焼成完了した商品の出庫時に、左手でドアを開け、右手でミトンを取ろうとした際、発生していた蒸気で右手首から肘までを負傷した。	23	10 ~ 29
12	13~14	勤務先店舗内でスープ製造が終わったあと、釜の掃除を行おうと釜の近くに右足を踏み入れた際、通常は蛇口を閉めて清掃作業を行うが、お湯を出したままの状態です右足を踏み入れたため、右足踝から下部分に火傷を負った。	33	1~ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)